

スポーツ損傷シリーズ

8. 疲労骨折



監修
日本整形外科スポーツ医学会広報委員会



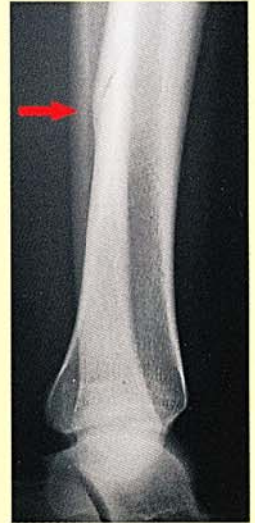
制作
三葎製薬株式会社

8. 疲労骨折

● 疲労骨折とは ●

疲労骨折とは、1回の大きな力による通常の骨折とは異なり、骨の同じ部位に繰り返し加わる小さな力によって、骨にひびがはいったり、ひびが進んで完全な骨折に至った状態をいいます。

スポーツ選手では短期的に集中的なトレーニングを行ったときに起こることが多いです。



● 発生要因 ●

選手自身の技術、体力の問題

1. 筋力の不足
2. アンバランスな筋力
3. 未熟な技術
4. 体の柔軟性不足 など

練習、環境の問題

1. オーバートレーニング
2. 選手の体力、技術に合わない練習
3. 不適切な靴
4. 固すぎたり、柔らかすぎる練習場 など



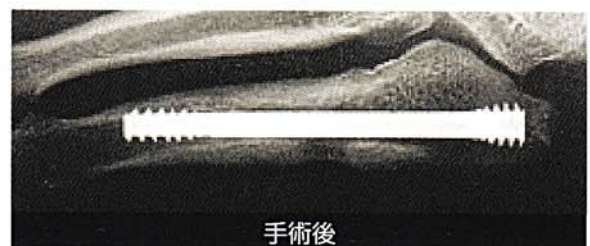
● 診断と治療 ●

明らかな外傷が無く、慢性的な痛みがあるとき疲労骨折を疑います。まずX線写真を取り、骨折の有無を確認しますが、わからない場合も多く、その時は経過をみて数週間後に再度X線写真をとるか、MRI検査や骨シンチグラフィの検査をします。多くの場合、局所を安静にすることで治りますが、時に手術が必要な場合があります。

脛骨疲労骨折



第5中足骨疲労骨折 (Jones骨折)



● 再発予防 ●

発生要因を検討し、普段から過度のトレーニング、単調で画一的なトレーニングを避け、コンディションを整えておくことが大切です。

